

JAPIC Pharma Report

海外医薬情報 速報

発信元：一般財団法人日本医薬情報センター
事業部門 医薬文献情報担当
〒150-0002 渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 5F

No. 1417 2024年1月25日発行

性腺機能低下の男性における Testosterone による治療と骨折：二重盲検無作為化プラセボ対照試験のサブトライアル

Testosterone Treatment and Fractures in Men with Hypogonadism

Peter J. Snyder (University of Pennsylvania, Philadelphia/USA) , ほか
N. Engl. J. Med. 390 (3) 203-211 / (2024. 1. 18)

testosterone による治療群では骨折発現率がプラセボ群より低くならず、むしろ高かった。

発熱を呈した黒色腫の 57 歳の女性：1 症例の報告

Case 2-2024: A 57-Year-Old Woman with Melanoma and Fever

Amir M. Mohareb (Massachusetts General Hospital, Boston/USA) , ほか
N. Engl. J. Med. 390 (3) 255-265 / (2024. 1. 18)

発熱等の原因は、BRAF-MEK 阻害剤 (dabrafenib および trametinib) による薬物性肝障害である可能性が高いと考えられた。

編集部注：詳細情報は文献複写サービスをご利用になるか、医薬品情報データベースの iyakuSearch, PharmaCross などをご覧ください。尚、より速く情報をお伝えするため、一部電子ジャーナルを利用して採択を行っております。文献複写サービスは雑誌入手後となりますのでご了承ください。文献複写申込みは JAPIC 附属図書館 / 文献複写サービスよりお申込みください。
(<http://www.japic.or.jp/service/library/guidance.html>)